

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

## 病害虫防除情報第 4 号

斑点米カメムシ類の発生状況についてお知らせします。  
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

### 斑点米カメムシ類の適切な防除を行いましょう。

1. 作物名 早期水稻
2. 病害虫名 斑点米カメムシ類

### 3. 発生状況

- (1) 6月上旬の水田周辺におけるイタリアンライグラス等飼料作物ほ場での生息密度(20回振りすくい取り)は、県全体平均 29.3 頭(平年 42.3 頭、前年 18.5 頭)で、平年比やや少である。(表 - 1、図 - 1、2 参照)

表 - 1 飼料作物ほ場等における斑点米カメムシ類の種別平均頭数(20回振り)

	ミナミアオカメムシ	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ類	アカスジカスミカメ	全種合計
平均(H23)	0.4	1.5	1.8	0.4	25.3	29.3
平年値	1.5	8.3	2.8	0.8	28.9	42.3

各種別平均値の端数を四捨五入しているため、合計は一致しない

図 - 1 種別平均頭数(6月上旬、20回振りすくい取り)

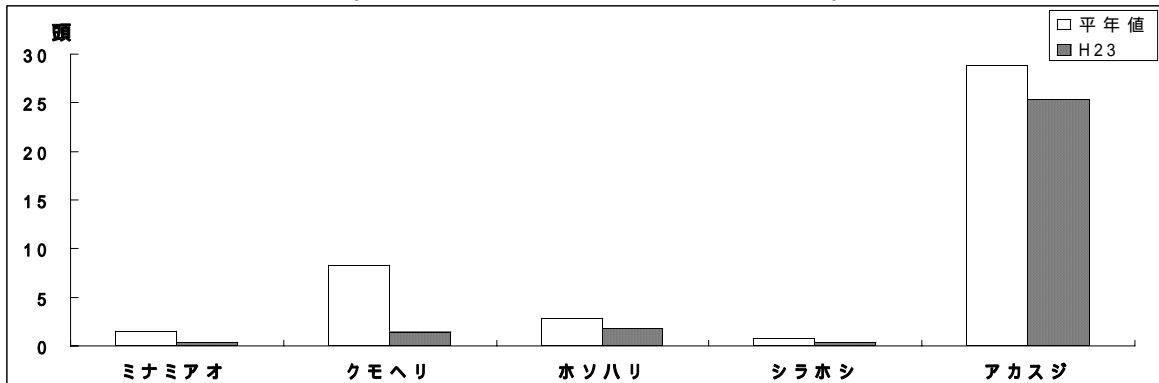
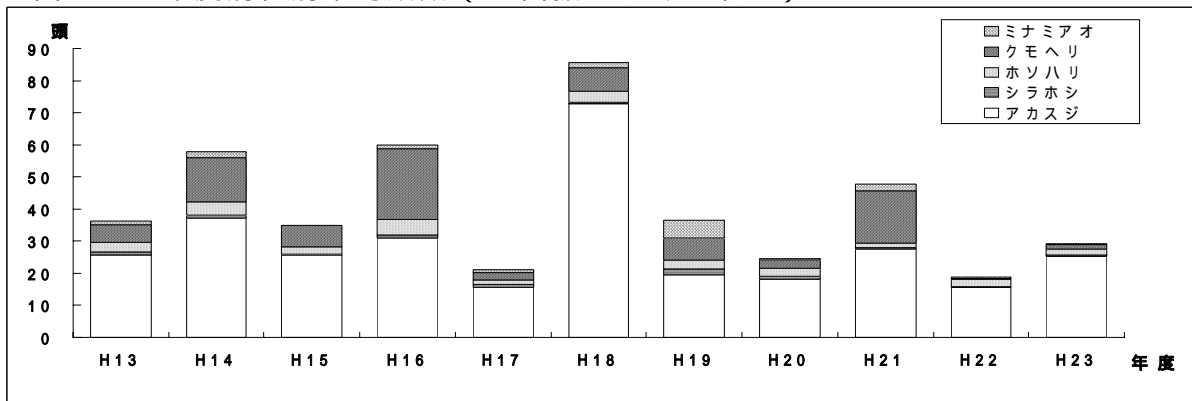


図 - 2 年度別種別平均頭数(20回振りすくい取り)



#### 4 . 防除上の注意

- ( 1 ) 本虫による被害は品質を著しく低下させ、等級格下げの重要な要因になるので、穂揃期とその7～10日後の2回防除を徹底する。その後も発生が見られる場合には、さらに追加防除が必要である。防除薬剤は穂いもちとの同時防除剤の使用が効率的である。
- ( 2 ) 広域の集団一斉防除に努め防除効率を高める。
- ( 3 ) 地域内の出穂の早い水田には集中的に飛来する恐れがあるので注意する。
- ( 4 ) 周辺雑草からのカメムシ類の本田への侵入を防止するため、周辺雑草の草刈りはイネが出穂する10日位前までに数回行う。出穂後やむを得ず草刈りを行う場合は、畦畔を含む水田全体に殺虫剤を散布してから草刈りを行う。
- ( 5 ) その他
  - ア . 防除薬剤等その他の詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病虫害防除・肥料検査センター等の関係機関に照会すること。
  - イ . なお、農薬の使用についてはラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守する等厳重な注意を払うとともに、農薬使用基準を遵守し危被害防止に努める。また、周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努める。

#### 連絡先

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター 中村

:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

E-mail:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp